

・障害者の雇用の促進について

Q 現在、公的機関や一定規模以上の民間企業は、障害者の雇用の促進等に関する法律に基づき、障害者の雇用に義務づけられています。民間企業の法定雇用率は1・8%ですが、実雇用率は全国平均で1・68%と法定雇用率に届いていません。これは障害者の社会参加に対して、理解不足としか言いようがありません。

山武市内の公的機関と対象企業の実雇用率はどうか。

A 総務部長 地方公共団体の場合、法定雇用率は2・1%になります。山武市役所の障害者の雇用義務者は9人となりますが、現在10名の方が働いています。平成21年度の職員採用におきましては、障害者の方の枠を設けまして、1人採用してございます。

A 経済環境部長 山武市内では5社の民間企業が対象となり、法定雇用率1・8%が摘要され、5社の雇用義務者数の合計は14人となります。障害者の方を雇用してい

る企業は3社で、合計11名の方が働いています。

A 保健福祉部長 山武市では障害者の方を対象に、職親制度、福祉作業所、この2つの事業をおこなっています。職親制度につきましては、現在3名の方が利用されており、福祉作業所においては、利用者数は41名となっています。

Q 障害のある人の社会参加を後押しするためにも、行政は率先して障害のある人を雇用してもらいたいと思います。

山武市として、障害のある人を雇用するにあたり、どのように考えているのか。

A 市長 障害のある人を雇用するにあたり、大事なことは、どういった仕事を無理なくしていただけるかだと思います。行政としても仕事の内容を検討し、障害のある人の雇用については、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

・さんむ医療センターの耐震改修工事について

Q さんむ医療センター中棟の耐震改修工事の詳細について伺いたい。

A 保健福祉部長 さんむ医療センター中棟耐震改修工事につきましては、プロポーザル・デザイン・ビルドという方式をとって公募したところ、6社の応募がありました。総合評価方式により選定した結果、戸田建設株式会社千葉支店が選定されました。

工事については1月に着手し、病院の業務に支障がないよう、居ながら工法による工事をおこなう予定です。

工事の完了は8月末で、引き渡しは9月16日です。工事の契約額は4億7千659万5千円です。また、この工事の管理業務として、NPO法人建設技術監査センターに委託しました。

個人質問



能勢 秋吉 議員

・土木行政について

Q 市役所前の橋梁工事の下部工事が進んでいます。橋梁の積算額を伺います。

A 都市建設部長 橋梁の積算額は、現在約1億3800万円を予定しています。

Q 国庫の補助金の補助率を伺います。

A 都市建設部長 2分の1を予定しています。

Q 入札はいつ頃ですか。

A 都市建設部長 平成23年9月を予定しています。

Q 工期を伺います。

A 都市建設部長 工期は平成24年3月を予定しています。

Q 殿台下町線の約520メートルの改良工事の積算金額を伺います。

A 都市建設部長 現在では約1億円を予定しています。

Q 工期を伺います。

A 都市建設部長 現在、平成24年度、平成25年度の継続で予定していますが、状況により平成24年度に前倒しをするかもしれません。

Q 交通利用調査によると、朝7時から8時頃のバイパスの車両通行量は、1時間当たり上り、下りで、約1200台前後、同じ時間帯で成東鳴浜線は、1時間上りのみで350台、400台前後だと思われます。このうち成東鳴浜線から殿台島地先を左折する車両が約2割、また、ダイヤパレスの交差点から左折する車両が2割程度だと思われま

A 都市建設部長 用地買収、工事等を含め、約2億3千万円と考えています。

ます。市長はどのように考えますか。

A 市長 病院の正面玄関の前を通る交通量が朝の一定時間帯にかなり混雑が予想されることは、そのとおりだと思います。通学路であり、病院への進入路でもあるので、橋が開通したら、少し先のほうに向かって延ばしていくという認識は持っています。

Q 道路延長する場合の工事費を伺います。

A 都市建設部長 用地買収、工事等を含め、約2億3千万円と考えています。



市役所前作田川橋梁工事

Q 合併特例債事業として検討する考えはありますか。

A 市長 常に健全財政を第一に考え、後世に負担を残さないということをしつかりと考え、ほかの事業とのバランスもあります。必要な事業であるという認識です。

一般質問の内容は、各議員より提出された原稿をそのまま掲載しました。